



核なき世界へ 次の一歩

米国の現職大統領として初めてオバマ氏が被爆地・広島を訪問した。米国によつて投下された原爆がもたらした惨状。「20世紀の悲劇」の現場に立ったオバマ大統領は「核兵器なき世界」への思いを新たにした。だが、核廃絶への道のりは長く険しい。日米は今後、何をしていけばいいのか。

【聞き手・及川正也】

河野 洋平

元衆院議長



こうの・ようへい

1937年生まれ。早稲田大政経学部卒。元衆院議長。新自由クラブ代表、自民党総裁、副総理・外相などを歴任。核軍縮に一貫して取り組み、広島で主要国下院議長会議を主催。=丸山博撮影



良識であり続けられるかはわからぬ。日本の指導者も（日本本事が急襲し太平洋戦争の発端となつた）ハワイの真珠湾を訪問しなくていいのかという議論も必要ではないか。私は行った方がいいと思う。

廃絶の目標期限設定を

現職の大統領の訪問は広島の人たちが待望していたことだ。訪問で日本と米国の距離が縮まつたという見方もあるかもしれない。プラハ演説（2009年）を聞き、核軍縮にこれほど強い気持ちを持つ大統領がいるということに、広島の人の心は少し癒やされたと思う。それでも広島の人たちの心にはまだあまりがある。最初から、謝罪の必要がないから來ほしい、それなら行く、といふのは広島の心が傷つく。その意味で、オバマ大統領が被爆地で率直な感情を披露してくれたのは、よかつたと思う。

三十数年前、原爆投下直後の様子を編集したドキュメンタリー映画を

持つて1人でモスクワとワシントンを訪れたことがある。モスクワでは日本と米国の距離が縮まつたという見方もあるかもしれない。プラハ演説（2009年）を聞き、核軍縮にこれほど強い気持ちを持つ大統領がいるということに、広島の人の心は少し癒やされたと思う。それでも広島の人たちの心にはまだあまりがある。最初から、謝罪の必要がないから來ほしい、それなら行く、といふのは広島の心が傷つく。その意味で、オバマ大統領が被爆地で率直な感情を披露してくれたのは、よかつたと思う。

三十数年前、原爆投下直後の様子を編集したドキュメンタリー映画を

院議長（当時）＝民主党は被爆者の話を感銘していたが、その後の会合は「核兵器なき世界」の議論一辺倒だった。ペロン氏は今回、オバマ大統領にも広島訪問を進言したと聞いた。外相時代の1994年に初めて日本が「核兵器の究極的廃絶に向けた核軍縮議」（究極的核廃絶議）を国連総会に提案し、採択された。当时、米国は文案を作成することすら協力してくれなかつた。それから22年になる。日本は同様の決議を提案し続けてきたが、それに慣れてしまつて決議をするだけ。次に進めないと願つていた。私が衆院議長だった08年に恒例の主要国議長サミットを広島で開催したのには、そういう思ひがあった。ロシアを含む主要8カ国（G8）の議長全員がそろって広島に行き、平和記念公園で献花し、原爆資料館を見学した。米国のペロシ下

院議長（当時）＝民主党は被爆者の話を感銘していたが、その後の会合は「核兵器の究極的廃絶に向けた核軍縮議」（究極的核廃絶議）を国連総会に提案し、採択された。外相時代の1994年に初めて日本が「核兵器の究極的廃絶に向けた核軍縮議」（究極的核廃絶議）を国連総会に提案し、採択された。当时、米国は文案を作成することすら協力してくれなかつた。それから22年になる。日本は同様の決議を提案し続けてきたが、それに慣れてしまつて決議をするだけ。次に進めないと願つていた。私が衆院議長だった08年に恒例の主要国議長サミットを広島で開催したのには、そういう思ひがあった。ロシアを含む主要8カ国（G8）の議長全員がそろって広島に行き、平和記念公園で献花し、原爆資料館を見学した。米国のペロシ下

院議長（当時）＝民主党は被爆者の話を感銘していたが、その後の会合は「核兵器の究極的廃絶に向けた核軍縮議」（究極的核廃絶議）を国連総会に提案し、採択された。外相時代の1994年に初めて日本が「核兵器の究極的廃絶に向けた核軍縮議」（究極的核廃絶議）を国連総会に提案し、採択された。当时、米国は文案を作成することすら協力してくれなかつた。それから22年になる。日本は同様の決議を提案し続けてきたが、それに慣れてしまつて決議をするだけ。次に進めないと願つていた。私が衆院議長だった08年に恒例の主要国議長サミットを広島で開催したのには、そういう思ひがあった。ロシアを含む主要8カ国（G8）の議長全員がそろって広島に行き、平和記念公園で献花し、原爆資料館を見学した。米国のペロシ下

院議長（当時）＝民主党は被爆者の話を感銘していたが、その後の会合は「核兵器の究極的廃絶に向けた核軍縮議」（究極的核廃絶議）を国連総会に提案し、採択された。外相時代の1994年に初めて日本が「核兵器の究極的廃絶に向けた核軍縮議」（究極的核廃絶議）を国連総会に提案し、採択された。当时、米国は文案を作成することすら協力してくれなかつた。それから22年になる。日本は同様の決議を提案し続けてきたが、それに慣れてしまつて決議をするだけ。次に進めないと願つていた。私が衆院議長だった08年に恒例の主要国議長サミットを広島で開催したのには、そういう思ひがあった。ロシアを含む主要8カ国（G8）の議長全員がそろって広島に行き、平和記念公園で献花し、原爆資料館を見学した。米国のペロシ下

院議長（当時）＝民主党は被爆者の話を感銘していたが、その後の会合は「核兵器の究極的廃絶に向けた核軍縮議」（究極的核廃絶議）を国連総会に提案し、採択された。外相時代の1994年に初めて日本が「核兵器の究極的廃絶に向けた核軍縮議」（究極的核廃絶議）を国連総会に提案し、採択された。当时、米国は文案を作成することすら協力してくれなかつた。それから22年になる。日本は同様の決議を提案し続けてきたが、それに慣れてしまつて決議をするだけ。次に進めないと願つていた。私が衆院議長だった08年に恒例の主要国議長サミットを広島で開催したのには、そういう思ひがあった。ロシアを含む主要8カ国（G8）の議長全員がそろって広島に行き、平和記念公園で献花し、原爆資料館を見学した。米国のペロシ下

院議長（当時）＝民主党は被爆者の話を感銘していたが、その後の会合は「核兵器の究極的廃絶に向けた核軍縮議」（究極的核廃絶議）を国連総会に提案し、採択された。外相時代の1994年に初めて日本が「核兵器の究極的廃絶に向けた核軍縮議」（究極的核廃絶議）を国連総会に提案し、採択された。当时、米国は文案を作成することすら協力してくれなかつた。それから22年になる。日本は同様の決議を提案し続けてきたが、それに慣れてしまつて決議をするだけ。次に進めないと願つていた。私が衆院議長だった08年に恒例の主要国議長サミットを広島で開催したのには、そういう思ひがあった。ロシアを含む主要8カ国（G8）の議長全員がそろって広島に行き、平和記念公園で献花し、原爆資料館を見学した。米国のペロシ下